

第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」			
	(1)多様な文化芸術イベントの開催			
事業名	市民美術講座			
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市教育振興財団		
市との関わり	その他	企画提案業務	指定管理者	
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961	(内)90-2525

【評価指標】

1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）
(1) 妥当性 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等 (2) 達成度 実施主体の自己評価は4であるが、2次評価は3に変更
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、こども・若者、領域の広がり）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
4 市民との関わり（満足度、周知度）
(1) 満足度 実施主体の自己評価は4であるが、2次評価は3に変更 (2) 達成度 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
5 効果（活動の活性化、費用対効果、その他の効果）
(1) 活動の活性化 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等 (2) 費用対効果 実施主体の自己評価は4であるが、2次評価は3に変更

【提 言】※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	☒ A：継続 ☐ B：改善 ☐ C：見直し
※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載 平成16年から、講座を開催しているにも関わらず、満足度アンケートなどが行われていなかったのは驚きである。今後はアンケート等を活用し、事業開発を進めると良い。 昨今は、入門的な立場の方だけではなく、知見の深い方も多くいらっしゃるので、学芸員の研究スキルの向上も見込める、専門性の高い講座も併せて実施しても良いと思う。 事業実施にあたっては、対象や狙いを戦略的に検討してもらいたい。 事業検討にあたっては、人件費も費用と認識し、費用対効果の観点から検討をお願いしたい。	